冨田 千愛(とみた ちあき)

(1993年10月18日生まれ)



鳥取県米子市出身。米子東高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学大学院政治学研究科博士前期課程(修士課程)修了。現在は東京大学大学院教育研究科・身体教育学コース野崎研究室の特任研究員、東京大学 RSL 所属

経歴

2014年アジアカップ(軽量級ダブルスカル)で国際大会初優勝、2015年ユニバーシアード (軽量級ダブルスカル)優勝。U23世界選手権(軽量級シングルスカル)準優勝など、国際 大会で優勝を争うまでに成長。

2016年、大石綾美選手と組んだ「アジア・オセアニア大陸予選」の軽量級ダブルスカルで1位となり、リオオリンピック出場枠を獲得。リオオリンピックは12位。

2019年世界選手権(軽量級シングルスカル)では予選タイムを1位通過し、決勝では世界選手権で日本女子勢初のメダルとなる銀メダルを獲得する。

2021年に引き続き大石選手と組んで東京オリンピック出場権を獲得し、2 大会連続出場を達成。東京オリンピックは 10 位

2022 年世界選手権(軽量級ダブルスカル)では木野田沙帆子選手と組んで、総合 18 位